

とある海辺の学校に入学した二人の高校生の三年間を、
全編描き下ろしのイラストと短歌で表現しました。

本書は両面が表紙のようなデザインになっています。

二人の主人公それぞれの視点で両側から物語が始まり、

本が中心が結末のページになっている仕掛けです。

短歌とイラストで紡ぐ物語。

シリーズ「短歌のえほん」第1弾。

潮の香りのする ラムネ菓子

竹内 亮（短歌） RASUKU（絵） / 遊泳舎

